

科目	心理統計学 I	単位数	2
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	臨床心理学科1年春学期		
目的	心理学の研究で用いられる統計手法の基礎を学ぶ。こころの様子を知るために実験や調査、面接や観察などの方法によってデータが収集される。収集されたデータは数字に置き換え(数値化し)分析する。本講義で学ぶ心理統計学の知識は、データを分析するために欠かせないものである。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)こころを数値で表現することに関心をもつ。 (2)マスメディアで目にする(耳にする)統計情報に関心をもつ。 「思考・判断」 (1)正しい計算ができていないか、また、正しい統計知識の利用ができていないか考えることができる。 「技能・表現」 (1)データの数量化、可視化ができる。 「知識・理解」 (1)記述統計と推測統計の説明ができる。 (2)統計的仮説検定について説明ができる。		
授業計画			
1	なぜ心理学に統計が? :こころを数字におきかえる、記述統計と推測統計		
2	1つの変数の特徴を記述しよう1:データとは、尺度水準		
3	1つの変数の特徴を記述しよう2:データの図表化		
4	1つの変数の特徴を記述しよう3:代表値、散布度		
5	1つの変数の特徴を記述しよう4:標準化		
6	2つの変数の特徴を記述しよう1:散布図とクロス集計表		
7	2つの変数の特徴を記述しよう2:共分散、相関係数、相関係数の性質		
8	標本から母集団を推測しよう1:母集団と標本、母集団分布を仮定する		
9	標本から母集団を推測しよう2:正規分布とその性質、標準正規分布、標準正規分布表		
10	標本から母集団を推測しよう3:標本分布、標準誤差、推定と推定量		
11	標本から母集団を推測しよう4:不偏性、不偏分散		
12	統計的仮説検定って何だろう1:統計的仮説検定の考え方、帰無仮説と対立仮説		
13	統計的仮説検定って何だろう2:有意水準、検定結果の報告		
14	統計的仮説検定って何だろう3:両側検定と片側検定、統計的検定における2種類の誤り		
15	統計的仮説検定って何だろう4:統計的仮説検定の手順		
授業形態/具体的な内容	講義に加えて電卓を用いた計算の実習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
よくわかる心理統計学	山田剛史・村井潤一郎	ミネルヴァ書房	
参考書	心理学のためのデータ解析テクニカルブック、森敏昭・吉田寿夫、1990年、北大路書房 初めて学ぶ統計学、菅民郎・松山みぎわ、2003年、現代数学社		
成績評価の基準・方法	宿題、期末テスト、学習意欲による総合評価		
留意点	宿題(事前学習と事後学習)は毎時課すので必ず提出すること。特に、復習を必ず実施すること。		
準備学習	事前学習のための宿題を提出すること		
備考	宿題の提出はマナバを利用する	No.	PY321001